

会 議 録

会議の名称	令和7年度 第2回 茨木市指定管理者候補者選定委員会
開催日時	令和7年7月16日（水） 午前 午後） 10時00分 開会 午前 午後） 11時40分 閉会
開催場所	-（WEB会議）
委員長	山下 克之 （追手門学院大学 経営学部 教授）
出席者	【委員】 山下 克之 委員長 （追手門学院大学 経営学部 教授） 坂西 明子 副委員長（立命館大学 政策科学部 教授） 井元 真澄 委員 （梅花女子大学 心理こども学部 教授） 辰本 頼弘 委員 （追手門学院大学 社会学部 教授） 藤野 一夫 委員 （神戸大学 芸術文化観光専門職大学 名誉教授） 【委員は五十音順】
欠席者	田村 和宏 委員 （立命館大学 産業社会学部 教授）
事務局職員	【事務局】 大野政策企画課長、梶政策企画課参事、蔵所政策企画課グループ長、武井政策企画課主査、木本政策企画課主査 【説明員】 山脇建設部理事兼交通政策課長、野村交通政策課係長 谷田産業環境部副理事兼農林課長、添田農林課参事兼係長 幸地地域コミュニティ課長、西田地域コミュニティ課長代理兼グループ長 今西市民文化部次長兼文化振興課長、能勢文化振興課長代理兼係長、山上文化振興課係長 奥野健康づくり課長、三河健康づくり課長代理兼係長 九鬼スポーツ推進課長、寺本スポーツ推進課長代理兼係長
開催形態	非公開

議題(案件)	(1) 令和6年度指定管理者制度導入施設の評価報告について
配布資料	(1) 公の施設評価シート

議事の経過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	それでは、ただ今から、令和7年度 第2回 茨木市指定管理者候補者選定委員会を開催させていただきます。 はじめに本日の出席委員の状況について、ご報告いたします。 委員総数6人の内、出席の委員は5人でございます。委員会規則第6条第3項により、委員の半数以上が出席されておりますので、会議は成立いたしております。 議事に入る前に事務局から公の施設評価シートの例年との変更点について補足説明させていただきます。お手元の「公の施設評価シート」の10ページをご覧ください。今回の改定内容として、新たに全施設において、選定時に提案された事業計画の取組状況や委員会からの指摘事項への対応状況を具体的に記載できる項目を追加いたしました。このページは、各施設の取組に関する詳細を補足するための重要な情報に関する項目を追加させていただいたものでございます。よろしくお願いいたします。 それでは、早速ですが、これからの議事は、委員会規則第6条第1項の規定により、山下委員長に議長をお願いいたします。
山下委員長	それでは、会議次第に沿って議事を進めさせていただきます。 なお、会議は2時間以内を予定しております。 本日の案件は、次第にありますとおり、令和6年度 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価報告についてです。 それでは、「駐車場（28施設）の評価報告について」審議しますので、施設所管課から説明を求めます。
交通政策課	<駐車場（28施設）の評価報告について説明>
山下委員長	ただ今の説明について、何かご質問等ございますでしょうか。
山下委員長	評価シート P371 アンケートの項番8（コミュニティサイクル）および9（コミュニティサイクルの希望）におけるアンケート結果では、不満が多い結果となっておりますが、所管課ではこのアンケート結果を踏まえ、コミュニティサイクルの在り方や指導等について、どのように考えていますでしょうか。
交通政策課	コミュニティサイクルは、駐車場の空きスペースを使用して行っているため、台数を増やすことは難しいと考えます。民営でもレンタサイクルは行っ

議事の経過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	ているため、そちらの活用を推奨したいと考えております。
辰本委員	コミュニティサイクルについては、指定管理者の主な自主事業となっているため、大切な項目であると思いますが、スペースが厳しく台数を増やせないのであれば、大多数が不満と回答することが想定されます。アンケートの設問としては適切かどうか疑問に思いますので、ご検討いただけますでしょうか。
交通政策課	承知いたしました。質問の仕方や必要性について、検討いたします。
坂西委員	評価シート P370 アンケートの項番 4（場内の走行禁止）について、数年前にも指摘しましたがあまり守られていなく、経年変化を見ても改善されていませんが、なかなか難しいものなののでしょうか。
交通政策課	場内での啓発に努めておりますが、走行しているところを止める等は事故に繋がるため、そこまでは行っておりません。
山下委員長	他にないようでしたら、各駐車場（全 28 施設）の評価報告についての審議を終了させていただきます。
	つづきまして、「里山センターの評価報告について」審議いたしますので、施設所管課からの説明を求めます。
農林課	<里山センターの評価報告について説明>
山下委員長	ただ今の説明について、何かご質問等ございますでしょうか。
山下委員長	評価シート P355 人件費が上がっておりますが、単価があがったのでしょうか。または人員を増やしたのでしょうか。
農林課	人員を増やしたわけではなく、最低賃金が上がったことによるものと考えております。
山下委員長	他にないようでしたら、里山センターの評価報告についての審議を終了させていただきます。
	それでは、「コミュニティセンター（全 18 施設）の評価報告について」審議いたしますので、施設所管課からの説明を求めます。

議事の経過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
地域コミュニティ課	＜コミュニティセンター（全 18 施設）の評価報告について説明＞
山下委員長	ただ今の説明について、何かご質問等ございますでしょうか。
藤野委員	中津コミュニティセンターについては、総合評価が S 評価となっており、利用状況においては 10%増、自主事業においても良い事業をしており、S 評価は妥当であると思います。一方、他のコミュニティセンターを横並びで見ると、同じように良い自主事業をしているセンターが A 評価となっているところも見受けられるため、そこは S 評価と見直していただいても良いと思います。 自主事業については、センターによって差がみられます。横展開もされていると思いますが、施設間での職員のスキルアップ等の技能研修会や、文化振興財団と協力イベント等は行っているかどうか、教えていただけますでしょうか。
地域コミュニティ課	横展開については、受付員の意見交換会や年 2 回の委員長会議を実施し、イベント等に関する意見交換をしております。また、あるセンターで行われるイベントに、他のセンターの委員長が訪問することにより情報を収集し、それを自分のセンターのイベントの参考に行っている事例もございます。 文化振興財団との連携については、クラシックコンサートを実施しております。
辰本委員	要望ですが、公の施設評価シートに記載されている運営状況の項目についてですが、各施設で統一された項目が設定されています。その中で、中津コミュニティセンターは多くの項目で S 評価を獲得しています。他の施設も、中津コミュニティセンターを参考にしながら S 評価を目標とし、市民サービスのさらなる向上に努められるよう、指導および支援をお願いしたいと思います。
山下委員長	評価シート P354, P355 アンケートの項番 8（高齢者・障害者への配慮への満足度）について、沢池コミュニティセンターだけ不満・やや不満の割合が 26%と高くなっております。他施設は全て数%ですが、何か特殊な事情があるのでしょうか。この点について、フォローされているのであれば問題ありませんが、注意が必要だと思います。
地域コミュニティ課	沢池コミュニティセンターについては、エレベーターが無いためだと考えます。こちらは、設置するスペースが無いためなかなか難しく、利用者には都度ご説明して対応はしておりますが、その不満がこちらに出てきていると

議事の経過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	考えます。
山下委員長	令和6年度、不満・やや不満の割合が増えた理由は何かありますか。
地域コミュニティ課	施設全体の利用者数が増えたことが影響している可能性があります。
山下委員長	他にないようでしたら、コミュニティセンター（全18施設）の評価報告についての審議を終了させていただきます。
	つづきまして、「福祉文化会館及び市民総合センターの評価報告について」審議いたしますので、施設所管課からの説明を求めます。
文化振興課	＜福祉文化会館及び市民総合センターの評価報告について説明＞
山下委員長	ただ今の説明について、何かご質問等ございますでしょうか。
藤野委員	福祉文化会館は令和7年5月末で閉館したということですね。閉館後のイベントであるため感想になりますが、先日、アートプロジェクトに参加しました。非常に良いイベントだと思いました。指定管理期間後のイベントであったため、文化振興財団が実施することは困難なことであったかと思いますが、このノウハウやネットワークを持っているのであれば、文化振興財団の価値がより上がると思います。 評価シート P251 自主事業について、しっかりと評価ができるように、どれだけの人員を配置し、どのような効果をあげているのか等、自主事業の詳細がわかるように記載いただけますでしょうか。 また、人材育成については、アーティストや市民コーディネーターの育成と内部職員の育成の2つの側面がありますが、どのように行われているのかわからないため、わかるように記載いただけますでしょうか。 この自主事業と人材育成は、文化施設の評価をするにあたり、重要なものであるため、対応いただきたい。
文化振興課	文化振興財団の自主事業に関してですが、館内のセンターホールにおいて舞台を行うことを含め、その他の活動も実施しています。例えば、地域に根ざした文化振興財団の強みを活かし、コミュニティセンターや立命館大学と連携して、ミニコンサートなどの自主事業を展開しています。コミュニティセンターとの連携については、10センターとの連携実績があります。 人材育成については、アーティストが交流することができる場づくりに力を入れており、クリエイティブセンター内にある喫茶店を活用しております。内部職員の育成についても積極的に取り組んでおり、年間57件の研修を実施し、

議事の経過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	内訳としましては、19 件が文化や芸術に関する内容、その他は接遇、人権、会計処理等の内容となります。市民のコーディネーターの育成につきましては、現在、市とおにクルの指定管理者が中心となり実施している「つどい、つながる文化の会議」があり、そこに文化振興財団も参加していただき、コーディネーターの役目を担う育成に繋がるような取組を行っております。 評価シート P244
坂西委員	収支状況について、どちらの施設も赤字が毎年続いております。これは、文化・芸術施設特有のものなのでしょうか。
文化振興課	令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症のまん延、令和 4 年度および令和 5 年度は電気代の高騰等が原因であり、大きな赤字が出ております。令和 6 年度は、これらの要因については解消を図りましたが、市に準じている人件費についても、文化振興財団により給与改定を行っており、この高騰が赤字の要因であると分析しております。
山下委員長	令和 7 年度の予算は 500 万円の赤字で組まれておりますが、こちらについては、指定管理料の値上げ、構造的な改革の指導など、何か対応が必要と思いますが、市としてはどのように考えていますか。
文化振興課	文化振興財団全体の決算としては赤字がでておりません。指定管理事業や自主事業において、過剰な赤字が出る場合は、年度末に補償金、補填金を検討する必要があると考えております。
山下委員長	文化振興財団としては、この指定管理での赤字について、どのようにお考えか、お話はされているのでしょうか。
文化振興課	文化振興財団も赤字については解消を検討しており、人件費の高騰の部分では市へ相談いただいております。
山下委員長	他にないようでしたら、福祉文化会館及び市民総合センターの評価報告についての審議を終了させていただきます。 それでは、「保健医療センターの評価報告について」審議いたしますので、施設所管課からの説明を求めます。
健康づくり課	<保健医療センターについて説明>
山下委員長	ただ今の説明について、何かご質問等ございますでしょうか。

議事の経過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
井元委員	評価シート P341, 343 利用状況について、住民健診とがん検診の受診者数について、コロナ禍と比べると、そこまで受診率が上がっておりません。住民健診は約 35%、がん検診は約 60%となっており、一般的には低い受診率となっております。この推移については、どのようにお考えでしょうか。 また、受診率を向上させるための取組を行うとされておりますが、次年度の目標値が下げられるため、この点についてのお考えについて、教えてくださいいただけますでしょうか。 一方で、アンケートでは予約が取りづらいというご意見が寄せられております。受診率が 100%の場合でも、受け入れ態勢を整えておく必要があると考えますが、受診率が低い状況であれば予約が取りやすくなるのではないかと思います。この点について、どのようにお考えか教えてくださいいただけますでしょうか。
健康づくり課	稼働率として記載しているものは、集団健診として設けている枠に対する稼働率となっております。職場等で受診するものとは別のものとなっております。 目標値については、前年度の実績をもとに出しているため、令和 7 年度の目標値は下がっております。 コロナ禍以降の推移については、受診率はあまり伸びていない状況です。ただし、指定管理者が実施する健診は主に集団健診を対象としています。一方で、市が実施する地域巡回健診や、医療機関で個別に受診する健診も行われております。そのため、受診者がそちらに流れている可能性があると考えています。 受診率の向上については、個別健診と集団健診を合わせて検討する必要があると考えています。そのため、指定管理者だけでなく、市も連携して取り組みを推進していくことが必要だと考えています。
山下委員長	評価シート P342 人件費について、実績に対しする予算額を見ると、例年 5,000 万円程度増額して組んでおり、乖離しているように見受けられます。指定管理料を減らす等の対応が必要かと思いますが、何か増額している理由はあるのでしょうか。
健康づくり課	確認させていただきます。
山下委員長	他にないようでしたら、保健医療センターの評価報告についての審議を終了させていただきます。 それでは、「体育館（2 施設）・プール（3 施設）・忍頂寺スポーツ公園の評

議事の経過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	価報告について」審議いたしますので、施設所管課からの説明を求めます。
スポーツ推進課	＜体育館（２施設）・プール（３施設）・忍頂寺スポーツ公園について説明＞
山下委員長	ただ今の説明について、何かご質問等ございますでしょうか。
辰本委員	評価シート P258, P272 市民体育館と東市民体育館で、アンケート項目の違いがあります。同種の施設においては、アンケート項目を統一していただけると評価しやすいです。両施設を比べると、市民体育館の方が東市民体育館より不満が多く見受けられますが、何か要因はあるのでしょうか。
スポーツ推進課	施設を建てた年数および設備面の違いからの結果であると考えます。衛生面についても、両施設ともしっかり清掃は行っておりますが、老朽化の違いから差があると考えております。スタッフの対応につきましては、東市民体育館は地域の団体に努めていただいているため、良い評価をいただいていると考えております。
辰本委員	スタッフの対応については、地域の団体と民間企業との差があるかもしれませんが、利用者からするとどちらであっても、良い対応が求められますので、その点、指導をお願いさせていただきます。
辰本委員	プールのトイレについて、毎年不満が多い結果が出ております。こちらはどのようにお考えでしょうか。
スポーツ推進課	トイレの改修については、市民体育館が今年度設計し、来年度工事を予定しております。特に便器については、洋式化にも取り組んでいきたいと考えております。一度に全ての施設でということはできませんので、プールのトイレにつきましても同様に検討し、段階的に改修したいと考えております。
辰本委員	プールのトイレであるため、濡れた体で使用することもあり、清潔感がどうしても損なわれると感じてしまう点があります。その点の改善についても検討していなければならないと思います。
辰本委員	評価シート P329 忍頂寺スポーツ公園のアンケートで、スライダーが使えないのが残念とあります。使えない施設がそこにあるだけで、利用者の満足度が下がってしまうと思いますので、予算の関係もあるかと思いますが、使う予定であれば早く修繕して使えるようにし、使う予定でないのであれば早く撤去する等、対応をお願いします。

議事の経過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
山下委員長	他にないようでしたら、体育館（２施設）・プール（３施設）・忍頂寺スポーツ公園の評価報告についての審議を終了させていただきます。 以上で、本日の案件は終了いたしました。事務局から何か連絡はありますか。
事務局	次回の委員会についてご連絡いたします。次回は、８月５日（火）午後１時から、施設評価報告についてご審議いただく予定ですので、よろしくお願いいたします。 以上でございます。
山下委員長	それでは、これで令和７年度 第２回 茨木市指定管理者候補者選定委員会を終了いたします。